# 地域におけることろの健康づくり~市町村の自殺対策~

平成10年以降急増した自殺者数は、平成24年に15年ぶりに3万人を下回りましたが、その一方で若年層の自殺死亡率が高まる傾向にあるなど、依然として深刻な状態が続いています。

国・自治体・地域をあげての対策が喫緊の課題であり、市町村においては、地域住民の孤立化を防ぎ、こころの健康を高めるためのまちづくりが求められています。この研修では、国の動向の講義や先進自治体の事例等により、住民組織等とも連携した具体的な対処法について考えていきます。

#### 研修の ポイント

- ◆自殺に関する現状について理解を深めます。
- ◆自殺対策に必要な知識について学びます。
- ◆具体的な支援策の企画・立案能力を養成します。

#### 開催要領

日 程 平成28年2月17日(水)~2月19日(金)(3日間)

場 所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩3分

### 自殺対策に携わる市区町村等の職員

対 象

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。 ※行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご留意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。

#### 募集人数

経

申込方法

#### 40人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

10,500円

費

上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成28年1月6日(水)まで

**JIAMホームページ内「Web申込み」**からお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

#### 問い合わせ先



公益財団法人 全国市町村研修財団

# 全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号
TEL**077-578-5932** FAX**077-578-5906**[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] http://www.jiam.jp

# [研修の内容及び日程]

2/17

11:00~ 入寮受付•昼食

12:30~ 開講・オリエンテーション

13:00~15:35 【講義】自殺総合対策の理念と実践

~地域でできること~

特定非営利活動法人自殺対策支援センターライフリンク 代表

清水 康之 氏

誰もが自殺に追い込まれることのない社会づくり、悩んでいる人が相談できる 環境づくりを目指して、自殺対策の最前線で活動されている講師により、最新の 自殺総合対策の動向、地域でできる自殺対策についてご講義いただきます。

15:50~17:00 【事例紹介①】足立区における

## 「都市型自殺対策モデル」の取り組み

東京都足立区衛生部こころとからだの健康づくり課長 馬場 優子 氏

自殺に至るには複数の要因が重なり合っていると考えられています。自殺に至る問題をさかのぼって、それぞれの要因を総合的に解決していくために様々な部署・機関との連携が不可欠です。足立区が取り組んでいる、SOSを受けとめた職員が問題に応じた関係機関と連携することにより課題解決へと導いていく対策についてお話しいただきます。

17:30~ 交流会

夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

JIAM メールマガジンの お知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。



2/<sub>18</sub>

### 9:25~10:35 【事例紹介②】郡上市における自殺対策の取り組み

#### 岐阜県郡上市健康福祉部健康課 保健師 上村 喜美江氏

郡上市では、住み慣れた地域で安心して元気に暮らしていくために、一人一人がつながりを大切にし、支えあい、連携して自殺のない地域づくりを目指しています。乳幼児から高齢者まで切れ目なく支援する、「こころ」と「いのち」を支え合う取り組みを紹介いただきます。

## 10:50~12:00 【講義】地域におけるカウンセリングの有効性と課題

聖泉大学 副学長 高橋 啓子 氏

相談窓口において、悩んでいる人の気持ちを受けとめ、寄り添い、解決策を見つけ出すために必要な対応についてお話しいただきます。また、相談窓口におけるカウンセリングの有効性や課題について専門的見地からご講義いただきます。

## 13:00~15:00 【講義】若者の自殺対策を考える

独立行政法人国立精神·神経医療研究センター精神保健研究所 自殺予防総合対策センター自殺予防対策支援研究室長 **川野 健治**氏

若年層の自殺死亡率は増加傾向にあり、深刻化しています。背景には、家庭環境や人間関係、経済情勢などが複雑に絡み合っていると考えられますが、その実態について、また、自傷・自殺行為についての理解や対応についてご講義いただきます。

# 15:20~17:00 【演習I】グループ討議(情報交換・意見交換)

グループに分かれ、各自治体の現状や課題について情報交換や意見交換をしていただき、3日目の【演習II】につなげます。

2/**19** (金曜日)

# 9:25~10:35 【事例紹介③】浜松市の「孤立を防ぐ」取り組み

静岡県浜松市健康福祉部健康医療課 主任 矢嶋 芳毅 氏

浜松市では、身近な人同士の支えあい、地域のセーフティネット等、孤立を防ぐための様々な施策を展開されています。関係機関との連携の仕組みを構築するとともに、重点的に実施されている「孤立を防ぐ」ための対策についてお話しいただきます。

## 10:50~15:10 【演習Ⅱ】グループ討議、発表、講評

静岡県浜松市健康福祉部健康医療課 主任 矢嶋 芳毅 氏 滋賀県立精神保健福祉センター 主幹 宇野 千賀子 氏

自殺対策への具体的な対処法についてグループ討議を行い、その成果を発表することにより受講者全員で情報共有をします。また、両講師から講評及び研修のまとめのお話をしていただきます。

15:10~15:40 ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

<sup>◎</sup>受講者による授業中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。

<sup>◎</sup>当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所でお願いいたします。

# FAXでのお申込は矢印の方向に

| 平成27年度 受講申込書                |   |   |            |  |
|-----------------------------|---|---|------------|--|
| 研 修 名<br>及び時期               | 地域におけるこころの健康づくり<br>~市町村の自殺対策~<br>平成28年2月17日(水)~2月19日(金) (3日間) |   |            |  |
| 市区町村コード番号                   |   |   |            | 要覧に記載のコードを6桁で記入してください。<br>45-6の場合、123456と記入) |
| 団体名                         |   |   |            | 市区町村組合                                       |
| 所 在 地<br>( 受講決定 )<br>通知送付先) | ₸   |   | 申込手続の 担当課名 |  |
|                             |   |   | 担当者名       |  |
|                             |   |   | 電話番号       |  |
|                             |   |   | FAX番号      |  |
|                             |   |   | e-mailアドレス |  |
| 受講者                         | 所属  |   |            |  |
|                             | 役 職 名   |   |            |  |
|                             | 間では、  |   |            |  |
|                             | ふりがな  |   |            |  |
|                             | 氏 名   |   |            |  |
|                             | 年 齢 (研修開始日現在)   | 歳 | 性別         | 男·女  |
|                             | 本研修関連職務の通算経験年月数(研修開始日現在)                                      |   |            | 年ヶ月  |
| NPO等の方                      | 団体の活動内容、行政との協働実績等をご記入ください。                                    |   |            |  |
| 上記のとおり、研修の受講を申し込みます。        |   |   |            |  |
| 平成年月日                       |   |   |            |  |
| 団体の長の職・氏名                   |   |   |            |  |
| 全国市町村国際文化研修所学長のあて 公印省略可     |   |   |            |  |

この申込書でご提供いただきました個人情報は、今回の研修実施のために使用します。なお、個人情報を集計して個人を特定できない統計資料を作成するために利用する場合があります。